

製品名: ARFGEF2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85303**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 202 kDa; Observed MW: 202 kDa

抗原情報

遺伝子名	ARFGEF2
別名	BIG2; PVNH2; dJ1164110.1
遺伝子 ID	10564.0
SwissProt ID	Q9Y6D5
免疫原	ヒト ARFGEF2 の合成ペプチド

背景

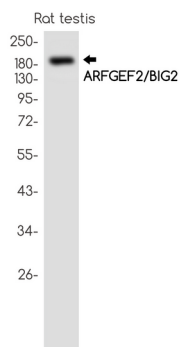
ARF1 および ARF3 でのグアニンヌクレオチド交換を促進し、程度は低いですが ARF5 および ARF6 でも促進する。GDP を GTP に置換す

ること ARF1/ARF5/ARF6 の活性化を促進する。ゴルジ小胞輸送の調節に関与する。エンドソーム区画の完全性に必要。トランスゴルジ網 (TGN) からエンドソームへの輸送に関与し、AP-1 複合体および GGA1 の膜結合に必要。トランスフェリン受容体をリサイクリングエンドソームから細胞膜へリサイクリングすることに関与していると思われる。おそらく GABA(A) 受容体が小胞体から退出することに関与している。エキソソーム様小胞を介した腫瘍壊死因子受容体 1 の恒常的放出に関与し、その機能には PKA、特に PRKAR2B が関与していると思われる。A キナーゼ アンカー タンパク質 (AKAP) として機能することが提案されており、Arf と PKA 経路間のクロストークを仲介する可能性があります。

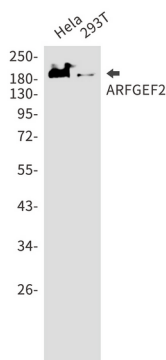
研究分野

-

画像データ



ARFGEF2 抗体を使用したラット精巣溶解物中の ARFGEF2/BIG2 のウエスタンブロット分析。



ARFGEF2 抗体を使用した HeLa、293T 溶解物中の ARFGEF2 のウエスタンブロット分析